

苦工同窓会

発行

苦工同窓会本部
幹事長 紺屋 隆
苫小牧市高丘6-22
TEL0144-37-3088

平成二十四年度

定期総会開催



平成二十四年度定期総会が五月二十六日(土)、グランドホテルニュー王子白樺の間において約八十名の出席のもと、開催されました。

岩本会長より、会員名簿発刊に際してのお礼と来年度迎える創立九十周年記念事業に対する協力を要請。続いて、今春着任した猪瀬校長より、「苦工同窓会は素晴らしい一大学園である」と述べられた。

り、創立九十周年記念事業も同窓会の力なくして出来ない事業であり、絶大なご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。最初、事務局より報告事項、協議事項の説明があり原案通り承認されました。

創立九十周年記念

第三号議案として創立九十周年記念について提案がありました。本年五月に第四回協賛会常任理事会があり、次のように決まりました。

☆事業

- ・記念植樹(ヤマザクラ)
- ・屋内体育館放送設備の更新
- ・吹奏楽部楽器の購入
- ・記念誌の刊行
- ・同窓会会員名簿の刊行

- ・記念式典
- 平成25年10月19日(土)
- 苫工体育館 10時開式

同窓会と母校創立九十周年記念事業

会長 岩本靖雄



平成二十四年度苦工同窓会定期総会も会員皆様方のご協力に依りまして無事終えることが出来ました事に感謝とお礼を申し上げます。

今回の総会開催はこれまでの時間帯を繰り下げ、より多くの同窓生の出席を期待したところでしたが、残念ながら昨年と余り変わらない出席数で、日時設定の難しさを改めて痛感した次第です。しかし、例年とは違った顔ぶれで同窓生に出会う事が出来、大きな収穫もありました。昨年総会時に本部同窓会の組織見直しを了承され、

その見直しを八名からなるPT委員会を設けて検討いたしました。その結果、(一)総務、(二)財務、(三)企画、(四)広報の四つからなる委員会を設けることになりました。この委員会設置の趣旨は、本部事務局の業務軽減はもとより、際着している同窓会活動の活性化、ことに若い人達の呼び起こし、そしてまた財政健全化等の問題を、こうした組織を確立することにより、これまでの「個」の力から「組織」を力とする運営を目指してゆきたいという願いがあります。またこの力を来年度迎える母校創立九十周年記念事業につなげることで成功への道が拓かれるものと期待している次第です。

す。PT委員会の皆さん方には限られた時間のなか、草案作成にご苦労をお掛けしましたこと、この紙面をお借りして深くお礼と感謝を申し上げます。さて九十周年記念事業の内容容であります。この「同窓会だより」が皆様方のお手元に届く頃には決定され予算も明確になっていると思います。先ず、先ずの総会時のこれまでの経緯とある程度の内容を報告いたしました。今後の取組につきましては理事一任という寛大なご意見を承りましたこと、責任を持って慎重に対応してまいります。しかしながら予算面においてはかなり厳しい状況である

祝賀会

平成25年10月19日(土) 於グランドホテルニュー王子 13時開会

☆募金

・同窓会、PTA、定時制後援会、学校の四者で協力し、寄付を募る。

感謝状の贈呈

同窓会発展に功勞のありました次の方々に感謝状の贈呈がありました。

- (故) 栗石 栄一様 支部長歴任 (日高支部)
- 協田 征也様 支部長歴任 (栗山支部)

懇親会

(猪瀬) 徹校長歓迎会 総会後、同会場において懇親会が行われました。土木31回矢部幸一氏より「同窓生が協力し、よい九十周年を迎えられますことを同窓生皆様に知って頂くと共に、その対応策として同窓生皆様の寄付を募ることになると思います。また状況(個人的に難しい等)によつては各支部での対応も考慮する必要があることも考えなければならぬ」と思っています。それから、企業へ直接お願いをする寄付は基本的に控えたいと思いますが、ご協力を頂ける企業の皆様方には是非ともご支援を頂きたいと思っております。結びに、母校創立九十周年記念事業成功に向けて、同窓生皆様のご支援を切にお願いと共に、苦工同窓会各支部の発展と皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。

岩本靖雄会長 母校在校生に講演



五月十五日(火)に学校年間行事の一つである「職業指導講話」の講師として岩本同窓会会長が招かれ、「社会人としての心構え」と題して講演を行いました。生徒は入学式、卒業式で会長の話は聞いていたものの、決まった形式で時間も限られています。社会人として必要なことは、「まず挨拶の出来る人。また誰でも失敗はあるが、その時心から素直に謝れる、そして若者らしく新

杯とを祈念して」の発声で乾杯

懇親会では、恒例となつています各支部の状況報告がありました。本年度の総会には遠方の東京より、川上本部副会長(化28)と石堂東六華会副会長(土39)の参加があり、九十周年記念に向けて支部として着々と準備を進めている旨の力強い報告がありました。

つづいて小林酒造社氏の南氏(化59)の協力により抽選会が行われました。今年はこの他に、早来支部より、名産のカマンベールチーズセットの寄贈もあ

しいことに意欲を持って取り組む人になって欲しい。」また、企業が求める人は「何事にも意欲を持つ、創造性を持つ(自分の考えを持ち、それの考えを意見として述べられる)、協調性を持つ(人と心を合わせて仕事が出来ると)。これらの事から、在学中には部活動に参加し、心身を鍛えて欲しい、と二時間近くに亘り長年の体験談も交えて熱く語りかけ、生徒は終始、真剣に聞き入っていました。

女性奮闘



現在、女生徒は一時より減少しているものの、全校で36名(5%)。実習も男女の別なく同じ内容。一方、昭和期には苦工では女性教員は殆ど見られなかったが、今では数学を始め、専門教科でも多くなり7名(内、助手3名)を数えています。苦工のパンカラムも過去のものとなったよう

総会スナップ



懇親会



支部報告(東京より川上・石堂両氏)



全員で校歌斉唱